

情報教育の充実

近年、社会の情報化は加速度的に進み、情報コミュニケーション技術は今後も急速に発展していくことは間違いありません。子どもたちが主体的にこうした情報社会に対応していくためにも学校における情報教育を充実させていくことは重要です。

パソコンや携帯電話、スマートフォンなどが広く子どもたちに普及し、誰もが情報の受け手だけでなく送り手となってきています。メールやチャット、今ではラインや SNS などによる犯罪やトラブルが大きな問題となっています。出会い系サイトによる性犯罪の被害者となる事例も深刻な問題です。個人情報の流出も後を絶ちません。子どもたちをネットトラブルの「被害者」のみならず、「加害者」としないためにも、情報モラル教育を推進することは喫緊の課題です。

◎教員採用試験においても、情報教育の充実について学習をする必要があります。

間違った情報に惑わされずに、ネットワーク社会を生き抜くことができる態度として、①情報活用の実践力 ②情報の科学的理解 ③情報社会に参画する態度の育成が求められています。

○新学習指導要領(総則)において 小・中・高別ポイントを次のように挙げている。

- 情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質—能力」と位置付け 児童生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)等の学習の基盤となる資質—能力を育成するため、各教科の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとするを明記。
- 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実に配慮
- ◇ 小学校においては、文字入力など基本的な操作を習得、新たにプログラミング的思考を育成
- ◇ 中学校においては、技術—家庭科(技術分野)においてプログラミング、情報セキュリティに関する内容を充実
- ◇ 高等学校においては、情報科において共通必修科目「情報I」を新設し、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク(情報セキュリティを含む)やデータベースの基礎等について学習



◎次の問題(一般教養・家庭)にチャレンジしてみよう。(時事通信社、一般教養問題、2020年度版より)

問 1. 日本のカロリーベース総合食料自給率(2016年度、農林水産省発表)に最も近い数字を選べ。

(ア) 15% (イ) 20% (ウ) 40% (エ) 62%

問 2. 次の文の()に入る適語を記せ。

イギリスの消費者運動で提起された食生活の環境への負荷を示す指標を()という。「食料の輸送量×輸送距離」で示され、値が大きいほど地球環境への負荷が大きいと考えられる。

問 3. トマトに含まれる赤い色素で活性酸素を除去してくれる抗酸化物質を次から選べ。

(ア) ルチン (イ) β-カロチン (ウ) レシチン (エ) リコピン

問 4. 和食の調理で調味料を使用する順番を「さしすせそ」というが、この調味料に該当しないものを選べ。(ア) 酒 (イ) 塩 (ウ) 酢 (エ) しょうゆ (オ) みそ

(正解は末尾にあります。)

◆ 2月の採用試験全国模擬試験

実施日：第2回：2020年2月15日(土)(マークプレ模試)

場 所：北部生涯学習推進センター

時 間：9時00分～13時10分

答 問 1. (ウ) 問 2. フード・マイレージ 問 3. (エ) 問 4. (ア)「さ」は砂糖